

劇場アニメ「この世界の片隅に」

BD&DVD を9月15日に発売

監督・片渕須直、原作・この史代、主演・のん、音楽・コトリング

Blu-ray 特装限定版はメイキングや各種イベント映像収録の特典ディスク等が付属

バンダイビジュアル株式会社[住所：東京都渋谷区、代表取締役社長：川城和実]では、2016年11月の公開から、現在もロングラン上映中の劇場アニメーション『この世界の片隅に』のBlu-ray 特装限定版 [9,800円/税抜]、Blu-ray(通常版) [4,800円/税抜]、DVD [3,800円/税抜] を9月15日に発売します。

※商品詳細ページ：<http://konosekai.jp/disc/>



▲この世界の片隅に Blu-ray 特装限定版 展開写真

© この史代・双葉社 / 「この世界の片隅に」製作委員会

■商品特長

Blu-ray 特装限定版には、本編ディスクに加え、アニメーションの制作過程を追ったメイキング映像、主人公・ずずを演じた“のん”の新規インタビュー映像、音楽を担当したコトリングによるスペシャルライブ映像等、243分に及ぶスペシャル映像を収録した特典ディスク、100Pの特製ブックレットが付属します。またBlu-ray(通常版)、DVDとの共通特典として、パイロットフィルム、クラウドファンディング支援者イベント版冒頭エピソード等の映像、解説編、キャスト編の2種類の本編オーディオコメントが収録されています。

★「旅のはじまり」3分だけ！お試し映像(YouTube：<https://youtu.be/dPrtnkCD2aA>)

★「のん、ずずさんになる。」3分だけ！お試し映像(YouTube：<https://youtu.be/2XBBirPpR9M>)

■商品概要

- ・ 商品名 : この世界の片隅に Blu-ray 特装限定版
- ・ 価格 : 9,800 円(税抜)
- ・ 発売日 : 2017 年 9 月 15 日
- ・ 収録時間 : 【本編 DISC】 150 分(本編 129 分+映像特典 21 分)
【特典 DISC】 243 分
- ・ スペック : 【本編 DISC】 ドルビーTrueHD(5.1ch)・リニア PCM(ステレオ)・ドルビーデジタル (ステレオ)/AVC/BD50G/16:9 (1080p High Def)・一部 16:9 (1080i High Def) / 聴覚障害者対応日本語字幕付(ON・OFF 可能)
【特典 DISC】 リニア PCM(ステレオ・一部モノラル)/AVC/BD50G/16:9 (1080i High Def)
- ・ 特典 : ①特製 100P ブックレット
②特典 DISC
 - ・ 旅のはじまり ～映画『この世界の片隅に』制作準備の日々～
【ロケハン・脚本・絵コンテなど制作過程を追った新規メイキング映像】
 - ・ 練馬アニメカーニバル 2015 映画『この世界の片隅に』公開まであと 1 年！ 記念トークイベント
 - ・ 呉市立美術館 マンガとアニメで見る こうの史代 この世界の片隅に 展
 - ・ アニメーション映画『この世界の片隅に』制作風景 背景篇
 - ・ アニメーション映画『この世界の片隅に』制作風景 原画篇
 - ・ 『この世界の片隅に』ライブ付プレミア試写会
 - ・ 『この世界の片隅に』公開記念！ネタバレ爆発とことんトーク！
 - ・ 劇場舞台挨拶集
 - ・ アニメーション映画『この世界の片隅に』オリジナルサウンドトラック発売記念 スペシャルライブ [コトリンゴ・カタスミクインテットによる劇中音楽の貴重なスペシャルライブ映像]
 - ・ のん、すずさんになる。[のんによるアフレコ現場・広島キャンペーンなどの映像と共に振り返る新規インタビュー映像]
- ③映像特典
 - ・ パイロットフィルム
 - ・ クラウドファンディング支援者イベント版冒頭エピソード「冬の記憶」(音声無し/字幕)
 - ・ 特報 ・ 劇場予告編 ・ TV SPOT 集 ・ すずさんのありがとう
 - ・ ノンクレジットエンディング
- ④音声特典
 - ・ 本編オーディオコメンタリー
【解説編】[出演：片瀝須直(監督)・氷川竜介(アニメ・特撮研究者)・藤津亮太(アニメ評論家)]
【キャスト編】[出演：片瀝須直(監督)・尾身美詞(黒村径子役)・潘めぐみ(浦野すみ役)・新谷真弓(北條サン役)]
- ・ 仕様 : 浦谷千恵(監督補・画面構成)描き下ろしイラスト仕様特製収納ケース
特製インナージャケット



※Blu-ray(通常版)[4,800 円/税抜](写真左)、
DVD [3,800 円/税抜](写真右)も同日より販売開始します。
特典③、④は、3 アイテム共通特典です。

■「この世界の片隅に」について

原作は第 13 回文化庁メディア芸術祭優秀賞を受賞した、この時代の同名漫画(双葉社)。戦時下の広島・呉を舞台に、大切なものを失いながらも前を向いて生きる女性・すずを描いた珠玉のアニメーション映画です。片渕須直監督は6年の歳月をかけ、綿密なリサーチと時代考証を行い、原作漫画の世界を色鮮やかに描き出しました。また、映画化を望む 3,000 名を超えるファンが本作のクラウドファンディングに参加、映画公開を後押ししたことも話題となりました。

2016 年 11 月 12 日より、全国 63 館で公開をスタートし、口コミで話題を広げ公開館数は累計 360 館以上、興行収入 26 億円、動員数 200 万人を突破し、現在も全国各地にてロングラン上映中です。また本作は、第 40 回日本アカデミー賞最優秀アニメーション作品賞、第 41 回アヌシー国際アニメーション映画祭長編部門・審査員賞をはじめ、国内外の映画賞を多数受賞しています。

主人公・すずを演じるのは、本作がアニメーション映画初主演となる、女優・のん。すずを囲むキャラクターには、すずの夫・周作役の細谷佳正をはじめ、稲葉菜月、尾身美詞、小野大輔、潘めぐみ、岩井七世、牛山茂、新谷真弓ら実力派が集結。松竹新喜劇の座長・澁谷天外も特別出演しています。また、本作の音楽はコトリングが担当しています。

<ストーリー>

1944(昭和 19)年 2 月。18 歳のすずは、突然の縁談で軍港の街・呉へとお嫁に行くことになる。夫・周作のほか、周作の両親と義姉・径子、姪・晴美も新しい家族となった。配給物資がだんだん減っていく中でも、すずは工夫を凝らして食卓をにぎわせ、衣服を作り直し、時には好きな絵を描き、毎日のくらしを積み重ねていく。

1945(昭和 20)年 3 月。呉は、空を埋め尽くすほどの艦載機による空襲にさらされ、すずが大切にしていたものが失われていく。それでも毎日続く。そして、昭和 20 年の夏がやってくる――。



▲主人公・すず役：のん

<主な受賞歴>

第 40 回日本アカデミー賞 (最優秀アニメーション作品賞、優秀音楽賞)

第 90 回キネマ旬報ベスト・テン (日本映画ベスト・テン第 1 位、日本映画監督賞、読者選出 日本映画ベスト・テン 第 1 位、読者選出 日本映画監督賞)

第 71 回毎日映画コンクール(日本映画優秀賞、アニメーション部門 大藤信郎賞、スタッフ部門 音楽賞)

第 59 回ブルーリボン賞 (監督賞)

第 67 回芸術選奨 映画部門文部科学省大臣賞 (片渕須直)

第 11 回声優アワード(特別賞：のん、助演女優賞：潘めぐみ)

【商品に関するお問い合わせ先】

バンダイビジュアル株式会社 お客様センター

TEL : 03-5828-7582